

飛驒へ、能登へ
新高岡駅をご利用ください!



市長 記者会見資料
平成 30 年 4 月 26 日
新高岡駅利用促進プロジェクトチーム

プロジェクト商品好調・北陸の自然・歴史・文化に関心高まる 新高岡商品開発プロジェクトによる商品造成の進捗状況について

昨年 10 月から J R 西日本等の参画メンバーと連携し、新高岡駅を基点とした飛越能地域への誘客拡大と周遊ルートへの定着を目的に進めている新高岡商品開発プロジェクトの取り組み状況について報告します。

「新高岡商品開発プロジェクト」の取り組み状況

○商品内容

呉西エリアを含む飛驒・北陸地域を巡るツアー 27 商品の企画・発売

氷見番屋街(氷見市)・新湊きつとときと市場(射水市)・薄氷本舗五郎丸屋(小矢部市)・若鶴大正蔵(砺波市)・五箇山(南砺市)・瑞龍寺(高岡市)など、呉西エリアの観光地が組み込まれた商品

○販売実績

約 16,000 人(3 月末現在、概ね平成 29 年 12 月～平成 30 年 9 月出発分)

○事業効果

- ・販売実績が 2 月末現在の販売実績(約 11,000 人)から約 5,000 人増加。
- ・団体型商品により、新幹線からバスの乗り継ぎ利便性や高速道路へのアクセスなど新高岡駅が「飛越能の玄関口」としての拠点性を高めることができた。
- ・春以降の商品では、立山黒部アルペンルートのシーズンに合わせて世界遺産五箇山、雨晴海岸(海越しの立山連峰)や白米千枚田などの北陸の自然に加え、県西部の歴史や産業観光等の新たな魅力が組み込まれ、J R 及び各旅行会社等の積極的な宣伝活動も相まって、関東、関西圏における新高岡駅利用の関心度が高まっている。

○今後の予定

- ・各旅行会社では、一定の成果のあった団体型商品の量的拡大とオプションで特色ある観光素材を組み入れた各種個人型商品の販売を展開する。
- ・高岡市では、秋・冬メニュー開発のため、バリエーションのある周遊コースが提供できるよう、新たな素材の掘り起こしや魅力アップを行いながら、J R 等の関係者と連携を深め、本プロジェクトによる誘客拡大に取り組む。

※参考

新高岡商品開発プロジェクトの参画メンバー

J R 西日本、大手旅行会社 6 社(J T B、日本旅行、近畿日本ツーリスト個人旅行、阪急交通社、クラブツーリズム、読売旅行)、富山県、高岡市

問合せ先：総合交通課新幹線係(内線)2766、直通 0766-30-6505
観光交流課企画・交流係(内線)2419、直通 0766-20-1301